

# ゆうあい YOU★I

第71号

発行日 平成27年 3月20日  
 発行 御殿場市国際交流協会  
 御殿場市役所内  
 TEL.0550-82-4426  
 編集 広報部会

増刊:ゆうあい特集

## 国境を、海を、文化を越えて



### 第20回「日本語で話す会」

平成26年11月9日(日)

市内に住む外国籍の児童・生徒が、  
 将来の夢などを日本語で発表しました。

### GIA国際交流フェア2015

平成27年1月18日(日)

市内に住む外国人と日本人が、  
 料理やダンスを通して交流しました。



### 第9回「中学生英語スピーチコンテスト」

平成27年2月8日(日)

市内の中学生が、日頃感じていること  
 などを英語で発表しました。





# 第20回 日本語で話す会



平成26年11月9日(日) 市民交流センター ふじざくら 交流ホール

御殿場市教育委員会と国際ソプロチミスト御殿場の協力をいただき、20回目となる「日本語で話す会」が開催されました。家族と共に日本に来て、市内の小・中学校で学んでいる児童・生徒の皆さんが、日頃感じていることや母国への思い、将来の夢などについて、日本語で発表しました。母国との違いに戸惑いながらも一生懸命頑張っている発表者の様子に、来場者は大きな感銘を受けました。

## コサレ アイコさん (フィリピン 朝日小6年)



### 「日本に来て2年間の日々」

日本に来て無我夢中で2年間を過ごしました。最初は、友達作り、食事、運動などが大きな心配事でした。でも、周りの人の優しさのおかげで、小学校最上級生として頑張っています。フィリピンにいる頃から今もずっと変わらない私の夢は、いっぱい努力して医者になることと、歌手になって私の歌声で皆を幸せにしてあげることです。

【紹介者/齊藤穂乃花さん】 アイコさんのすごいところは、日本語が上手で勉強ができて、何でもすぐに覚えてしまうことです。

## サンサノ ノルマンさん (フィリピン 原里中2年)



### 「フィリピンと日本の学校、そして僕」

日本の学校の体育の授業では、体力作りで走ることや運動会、部活動がありますが、フィリピンにはありません。学校のきまりにも多くの違いがありますが、日本の生活は好きです。今より勉強を頑張って、将来日本とフィリピンの役に立つことができたら幸せです。

【紹介者/勝亦優斗さん】 責任感が強く、人に優しくして礼儀正しい、頑張り屋のノルマンは、ぼくが見習うべき友達です。

## 樋口 龍太さん (パラグアイ 御殿場南小6年)



### 「将来の夢と自分の思い出」

パラグアイにいた頃、日本で仕事をしているお父さんから日本の珍しいゲームを送ってもらって、とても喜んだことを覚えています。ぼくの夢はゲームクリエイターになって、もっと楽しくもっと面白いゲームを作って、世界中の子ども達に楽しんでもらうことです。

【紹介者/笹森滉稀さん】 龍太さんはとても楽しくて面白い人です。今は僕の親友です。

## 菊池 けいごさん (ブラジル 御殿場中2年)



### 「これからの自分」

中学生になって大きな変化の一つは応援団に入ったことです。壮行会で全力を出し切り、大きな達成感を味わいました。これから頑張りたいことは勉強と部活です。3年生も近いので、進路や自分の将来のことを考え、心の中で太鼓をたたきながら、自分自身にエールを送っていきたいです。

【紹介者/長田佳大さん】 気さくで、物事をプラス思考できる前向きな人で、僕も見習いたいです。

## 荒井 アニーさん (モンゴル 御殿場南小6年)



### 「モンゴルと日本」

海のないモンゴルでは食べたことのない魚を、日本に来て食べて大好物になりました。モンゴルの学校ではとても速いスピードで進む勉強が、日本では一つ一つ丁寧に時間をかけて進んでいくなど、違いがあることに驚きました。私の夢は、モンゴルを日本のようにきれいで、豊かで安全な国にしたいということです。

【紹介者/服部美緒さん】 アニーさんは優しくして友達思いの、とても頑張り屋さんです。

## 先輩のお話 サンサノ ノリエルさん (フィリピン 小山高)



4年前日本に来て中学校3年生に転入し、翌年小山高校の定時制に入学しました。昼間はバイト、夜は学校で、全日制よりも苦労は多いけれど、その分学ぶことが多く、強くなる気がします。日本の文化や生活にも慣れてきたので自立して、これからも頑張っていきたいと思います。

## 発表後にインドの踊りと歌を披露



進行役

丸山 珠代さん (御中1年)



グダ アヌシカさん (インド)



ヒラノ カズオさん・ボルベ フェイさん  
ボルベ ジェームズさん (フィリピン)

## 漆畑輝武先生 善行章を受章

御殿場市外国籍児童・生徒補習教室「ふじ山教室」で、長年子供たちに学習支援を続けてこられた漆畑先生に、日本善行会より善行章が贈られました。先生はボランティア指導員として、様々な国籍を持つ子供たちに、学校の宿題や勉強で分からないところを熱心に指導されています。また、地元の八幡宮の樹木の手入れも長年ボランティアでされていて、それらの功績が認められ、今回の受章となりました。おめでとうございます。



御殿場市教育長に受章を報告  
(左から) 勝又教育長、漆畑先生、秋山GIA会長



# GIA国際交流フェア2015

平成27年1月18日(日)  
御殿場市民会館小ホール

国際交流フェア2015が開催されました。今回は日本を含む14ヶ国が参加し、故郷でおなじみの料理や雑貨などの販売・展示を行いました。来場者は各国のブースを回り、料理の説明や国の話を聞きながら、本場の料理を楽しんでいました。各ブースでは南中学校、原里中学校、西中学校から16名の生徒がボランティアとして活躍しました。

フェア後半はサンバチーム「プロコ シズオカ」のサンバショーを鑑賞し、華やかな衣装のダンスと軽やかな中にも迫力のあるサンバのリズムに、会場は大変盛り上がりました。

## 《ユーラシア大陸》



**ベトナム**  
春巻きなど



**中国**  
焼き小籠包など



**フィリピン**  
バナナ春巻きなど



**ネパール**  
チキンティッカなど



**トルコ**  
レンズ豆のスープなど



**タイ**  
タイ風やきとりなど



**日本**  
寿司

## 《アメリカ大陸》



**ブラジル**  
コシニャなど



**ペルー**  
アルファフォルなど



**ボリビア**  
チキンライスなど



**アルゼンチン**  
エンパナーダなど



**アメリカ**  
デビルドエッグなど



**メキシコ**  
タコスドラドス



**カナダ**  
パシフィックサーモン



ゴミを減らすためにリユースの食器を使用



会場は大にぎわい!



一緒に踊ろう!



# 第9回 中学生英語スピーチコンテスト

平成27年2月8日(日)  
玉穂報徳会館区民ホール

御殿場市教育委員会と国際ソロプチミスト御殿場の協力により、中学生英語スピーチコンテストが開催されました。市内中学校6校から10名が参加し、日頃感じていることや体験したこと、将来の夢などを英語で発表しました。

今年度は富士岡中学校2年生の瀬戸萌愛さんが“What is ‘barrier free’?”という題名で、本当の意味のバリアフリーについて考えたことを発表し、最優秀賞に選ばれました。審査委員長の白畑先生（静岡大学教育学部教授）からは、「皆さん、よく暗記してきたと思います。ただ、事実だけ話すのではなく、自分はどう思ったのか、何を考えたのか、それでどうするのかという話まで持って行くと、より良くなると思います。何よりゆっくり間をあけて話すということが最も大切なことです。」という講評をいただきました。



優秀賞

丸山 祐来さん  
(西中2年)

“Inochi Tendenko”



最優秀賞

瀬戸 萌愛さん  
(富士岡中2年)

“What is ‘barrier free’?”



国際ソロプチミスト御殿場特別賞

小林 美輝さん  
(御殿場中2年)

“The Thing That Helped Me Change”



勝又 野乃楓さん  
(高根中2年)

“Communication from the Heart”



小林 実侑さん  
(富士岡中2年)

“Helping One Another”



西尾 瞳月さん  
(原里中2年)

“The Great Leader”



勝又 風実芳さん  
(西中2年)

“Small Barriers,  
Big Opportunities”



佐々木 七海さん  
(南中2年)

“The Water : what we need  
and what we share”



守山 啓人さん  
(原里中2年)

“The Ticket to Peace”



井上 美祐さん  
(御殿場中2年)

“My Dear Father”

昨年度の英語スピーチコンテストで最優秀賞を受賞した石田楓さん(西中3年)が、副賞の「YMCA English Camp for Global Leadership 2014」に参加しました。この研修は平成26年12月26日(金)から29日(月)までYMCA東山荘で開催されました。

「YMCA英語キャンプに参加して」

西中学校 石田 楓  
全国から集まった中高生と共に4日間、全ての会話を英語で行うこと、それは私にとって、初めての経験であり、最初は不安しかありませんでした。一つのテーマについて議論し、完成させたグループプレゼンテーション。未明まで励まし合いながら暗記したスピーチ。

スピーチであいさつをしたり、質問を投げかけたりした時に返事が返ってきたのは初めてで、驚きと嬉しさのあとに大きな達成感を得ることができました。英語に浸り、成長した4日間を力に、何事にも全力で頑張りたいです。



平成27年度  
御殿場市国際交流協会総会

日時：平成27年4月18日(土) 午前10時～

会場：御殿場市民会館 第7会議室

あとかき

昨年に引き続き、今回は「私から見た御殿場、そして日本」というテーマで特集を増刊しました。外国籍の皆さんから様々な立場で、感想と意見を伺いました。

私たち市民が、それを「どのように受け止め、感じ、何をすべきか」と、次のステップを考える機会になってくれたらいいと思います。 M.O.

御殿場市国際交流協会 (GIA) 事務局

〒412-8601 御殿場市萩原483(御殿場市役所1階 市民協働課内)

TEL : 0550-82-4426 / FAX : 0550-81-6439

E-mail : [gia@mail.wbs.ne.jp](mailto:gia@mail.wbs.ne.jp)

URL : [www.city.gotemba.shizuoka.jp/gia/](http://www.city.gotemba.shizuoka.jp/gia/)

# ゆうあい特集

# 私が見た御殿場、そして日本

## 寄稿集発行にあたって

御殿場市国際交流協会 会長 秋山 信泰

今期最後の協会広報「ゆうあい」をお届けします。特集として、今回は御殿場市に住まわれている外国籍市民の方々に、御殿場市での日常生活の印象、御殿場市に期待すること、そして将来の希望等、忌憚のないご意見を伺いました。寄稿にご協力いただきました皆様には、厚くお礼を申し上げます。

去る2008年9月15日米国にて端を発したリーマンショックまでは、御殿場市外国人登録人口は3,600名に達し、二十余年間で最高値を示しました。その後、景気の悪化や東日本大震災の影響もあつて減少を続け、現在は1,700名と半減しています。経済の変動は計り知れないところがありますが、外国人の方々には大変なご苦労をおかけしたと申し訳ない気持ちでいっぱいです。

今年には戦後70年、御殿場市制60周年の節目を迎え、国も御殿場市も様々なアクションの計画をしているようです。オリンピックの開催決定、富士山世界文化遺産登録等、過去にない環境の追い風を逃さず、住むに一番、働くに一番、老後も一番の町づくり、外国人の方々と手を取り合い、名実ともに国際地方都市御殿場を具現化したいものです。

G O T E M B A A N D J A P A N



より住みやすい御殿場へ  
スリランカ  
会社員  
アメーシラリンドナーさん

私は、2004年にスリランカから留学生として日本に来たアメーシと申します。日本での生活は早くも10年以上が経ちました。始めは東京の日本語学校、それから九州久留米の高専を終え、大学の為にまた東京に戻り、大学卒業後就職が決まり、御殿場に移ってきました。御殿場での生活は5年になるところです。今までの経験や日本での生活を改めて振り返る良いチャンスだと思えます。そのチャンスを与えてくれた皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。また、日頃忙しい中私の文章を読んでくださる方々にも感謝したいと思います。

日本人についてのイメージは、言うまでもなく、「とても優しい人」だということしかありません。道などに迷って誰かに聞いた時は、一緒に歩いて来てくれて案内されることを何度も経験しています。スパーやコンビニなどでも優しく「いらっしやいませ」「ありがとうございます」など感謝の言葉を大声で言ってもらったりお辞儀されたり、世界中のどこでも見たことがないような礼儀正しいコード（作法）を日常的に受けています。生まれた母国ではそのようなことを受けたことは





ありません。さらに時間を守る習慣がとても素晴らしいです。ぴったり決められた時間に到着する電車にはびっくりしました。

しかしながら、改良、改善できるところもまだまだあると思います。情報収集の手段が数多く発達していると思われませんが、逆にコミュニケーションの面では他国と比べてレベルが低く感じます。ネット上の情報に詳しい一方、隣りに住んでいる人のことを何も知らない人が、私の周りにも少なくありません。家庭内でも状況はあまり変わ

わらないと耳にしたことがあります。よそから来た私たちがどこから来て何をしていくかぐらいは、同じマンションに住んでいる日本人の方々に知ってほしいと、私は思います。

私は御殿場に来た当初より御殿場がすごく変わった気がします。最近世界遺産になってから、富士山を中心に御殿場への外国人の訪問者数が増えています。しかし、それに伴う対応が遅れている気がします。道案内看板やバス停案内など、外国人にとって一番重要なところが、まだ日本語のみになっていて困っている外国人を多く見かけます。少しずつでもこういうところが改善され、御殿場がより住みやすいところになるのを楽しみにしています。

### 相談指導員の仕事の中で感じたこと

フィリピン

静岡県教育委員会 外国人児童生徒相談指導員

嵐田アーノージョイさん



私は、フィリピン出身で約25年前に御殿場に来ました。一番困ったのは言葉で、外出や買い物、各種手続きなど生活のすべてが日本語で、英語での案内はありませんでした。

御殿場の生活では近所の人やママ友に恵まれ、みんなに日本の生活習慣や文化など様々なことを教えていただきました。とても不便だと感じたのは現在も同じで、公共の交通機関（バス、タクシー）が少ないことで、生活必需品を購入するにもバスの路線がなく、自家用車で行くしか手段が無いことです。このことは普段の買い物、保育園までの送迎や風邪等での通院で、私自身たいへん実感しました。私の国では、どんな田舎でも自宅からほぼ歩くことなく目的地まで行くことが出来ます。公共の交通機関が少ないことで、通勤や通学のため駅までの送迎などで駅周辺の渋滞を起こしたり、車のない人（高齢者、障害者等）が外出する機会を減らしたりしていると思います。

今は、英語での案内や表示だけでなく他の言語での表示、国際交流や地域の活動などで、外国人が日本（御殿場）で生活しやすい環境になったと思います。しかし、日本語が理解できない外国人にとっては、まだ沢山の課題があると思います。

市役所には英語等で生活に関する相談やアドバイスできる窓口の設置、小中学校に外国人がいる場合には相談指導員の配置時間増加や増員、外国人世帯へのボランティアを活用した相談指導員の訪問などが必要だと思っています。私は、外国人児童生徒相談指導員として県東部地区の小中学校を訪問していますが、共通していることは、両親とも外国人で日本語が理解できない場合、子供は学校生活に馴染めずに不登校になりがちなことです。私は勤務時間だけでなく運動会等の行事に顔を出したり、電話や家を訪問して親の相談に乗っています。このような事をする人を増やす必要があると感じています。

世界遺産の富士山や箱根が見える御殿場に住むことができて幸せです。これからも住み続けたいと思います。





## 第二の故郷 御殿場

ブラジル  
外国人の生活相談 相談員

勝又るりさん

どーんと富士山が目の前にある御殿場。元々は歴史のある市ですが、今では世界文化遺産に登録され日本のシンボルとなつていきます。

私はブラジル出身で、祖父によく昔の体験話をしてもらったり、富士山の写真や絵本、童謡にふれたりする機会がありました。いつか日本に行ってみたい気持ちの子供なりに芽生えていました。そして、今から25年前のことですが、来日することになり、それもこの御殿場市に住むことになりました。当時私が想像していた日本は、ビルで埋まっている国、ロボットの開発や新幹線が走っていて、とても進んでいる国だと思っていました。確かに間違いはなかったのですが、上空から自然の緑が沢山見えたときは驚きました。そして同時に自然があることに安心もしました。知識が浅かったのでしょうかね！また、今のようにメディアが発達していなかったと思います。当時はバブル景気と呼ばれる時代で、おかげで就職先や仕事は沢山あり、日系の皆さんが大勢渡つて来られるのが流行っていました。

私は市内の工場で働きはじめ、少しの日本語で、御殿場の方言や職場の専門用語を覚えるのが精一杯でした。周囲の皆さんは親切で温かい方ばかりでした。私にとって第二の故郷だと思っています。今では家庭を築き子育てに専念し、地域の方たちと交流しながら、御殿場の伝統や日本の文化を学び、子供と一緒にいろいろな体験、また自分と違う学校生活の送り方やさまざまな出来事を学びながら過ごしています。



相談を受けているるりさん

G O T E M B A A N D J A P A N



## 在日外国人との共生交流の場です



本格ブラジル流バーベキュー

シュハスコ・ベルダデイロ!



ふじ山教室  
親子ボウリング大会

市では外国人（南米系）の生活相談室を設けていて、国際交流協会でもさまざまな企画事業を行い、外国人と交流を深めています。数年前は働く目的で来日し、帰国した方もいますが、だんだん事情が変わり、長く日本に住む外国の皆さんや帰化して日本国籍を求める方も多くなります。社会が高齢化するにつれて社会保障の面で大変になるのではないかと思います。

祖父や親の代が戦後に日本からブラジルへ移民したり、今度は私たちが日本へ来たり、先のことは何が起こるか誰にも分かりませんね。今後私たちの子や孫にはどんな未来が待っているのでしょうか？世界は広いようで狭いです。今後東京オリンピックに向けて交流を深め、お互いに理解し、平和であるよう願っています。



## 私が日頃感じていること

アルセンチン

御殿場市外国籍児童・生徒補習教室「ふじ山教室」代表

津嘉山リリアナさん



私は津嘉山リリアナです。夫と長男と共に24年前に日本に生まれました。その後娘も生まれました。しばらくして、御殿場で子供たちにスペイン語を教えるボランティアを始めました。最初の目的は、子供たちが母国語を忘れてしまい、親とコミュニケーションが取れなくなるのを防ぐためでした。しかし、時と共に他の問題や疑問が生じてきました。彼らは日本の学校に通ってはいますが、言葉が解らない、文化も知らない、社会生活との接点もない状況なのです。そこで私の最初の目的を変えざるを得ませんでした。

日本の学校の建物や施設は立派です。先生達はとても熱心で優しいです。子供たちは勉強するために学校へ行くのですが、先生はトイレの行き方や食事の仕方、挨拶の仕方まで教えています。日常生活に関することは家庭で両親が教えなければならぬことだと思います。

日本では日本人の子供の教育は義務です。すごいことですが、外国人の子供たちはそうではありません。行きたくなければ辞めても構わないのです。しかしもつとすごいのは、御殿場の教育委員会と学校の先生たちは、彼らを脇に追いやつてしまわず、登校できるように、勉強できるように気遣つてくれます。御殿場から、外国人の子供たちの教育も義務教育化するように働きかけていきたいと思ひます。

日本の医療保障はとても進歩しています。そして御殿場の医師と看護師は素晴らしいです。休む間もなく寝食を忘れて、それでも常に微笑み、前向きに日々たくさん



ふじ山教室で子供たちと

の患者さんを診ています。待合室で他の人たちが「待ち時間が長い」などと言っているのをよく聞きますが、全体に医師と看護師の数が少ないのです。素晴らしい医師となる可能性を若者に与えるために、もつと安い学費で学べる学校や大学ができればよいのと思ひます。

人々の政治に対する関心の薄さを感じています。選挙に行き、自分たちの住む場所をより良くしていくのは、自分たちの責任です。そのことについて若者と対話すべきです。私は日本人の娘として生まれましたが、選挙権はありません。私も外国人の友人たちも、御殿場市での選挙に参加することを望んでいます。

このように、日頃私が感じていることを書くチャンスを下さり、ありがとうございます。私を励まし守つて下さる、素晴らしい御殿場市民の皆様に変感謝しています。

## 興味深い日本の文化や習慣

アメリカ

御殿場市内小学校ALT

ヒグビーハミルトンさん



「ハロー」皆さん、はじめまして。私はアメリカのミネソタ出身で、現在小山町に家族と住んでいるヒグビーハミルトンと申します。日本には、山口県の岩国、御殿場のキャンプ富士で海兵隊として3年半の期間滞在し渡米、その後家族と日本にやつてきて今年で4年目になります。現在で7年半、日本に滞在しています。

これまでの滞在期間で様々な日本の文化や習慣に興味を持ち、本を読んだり色々な人に伺いながら、日々の生活を通して自分の国に無い他国文化に触れてきました。特に好きなのは、ゴールデンウィークの頃に広がる桜の観賞、一年で多々行われる地元のお祭り、一目で眺められる富士山の景色です。去年の夏に友人と富士登山を経験し、実際に山頂で見た雲の上からの絶景が今でも忘れられません。

日常生活で、色々な方々に日本の「特色」、生活文化を教えてください





今回初めて中学生英語スピーチコンテストの審査員をされました

〇〇〇を比べてどう思いますか？」という質問をされることが多々あります。海外では自分の国のものももちろん、どんなものでも他国の良さを尊重して、どれが一番だという言い方はあまりしません。楽しい会話のふくらめ方として「その時を、楽しみましたか？」とか「その時、どこに行つて何をしましたか？」という会話のやり取りの方が、いいように思います。

海外での生活や人とのふれあいの中で、新しい出会いや異文化を体験でき、本当に嬉しく思います。



いますが、7年半在住していても未だ、新しく見たり聞いたりすることがあるので、日本の習慣はとも興味深いものだと感じます。一方、他国ではあまり感じられない国際人への偏った見方を感じたりすることがあります。小学校でも英語の学習に力を入れるようになり、国際社会に向けて国民の国際化を築き上げている中で、一人の国際人である私に「一対一」で話しかけることを怖がりたりしているのを今でも感じます。また、話の中で「アメリカと日本の

G O T E M B A A N D J A P A N

御殿場市在住外国人人口

2015年2月28日現在

国 籍 名	男	女	計	国 籍 名	男	女	計
ブラジル	235	222	457	インド	7	3	10
フィリピン	134	314	448	インドネシア	5	2	7
中国	82	96	178	パキスタン	5	2	7
韓国	51	125	176	朝鮮	3	3	6
ペルー	85	89	174	チリ	2	3	5
ボリビア	15	16	31	ネパール	4	0	4
パラグアイ	10	17	27	メキシコ	2	2	4
ベトナム	8	16	24	カナダ	1	2	3
米国	14	9	23	マレーシア	2	1	3
タイ	3	14	17	モンゴル	0	3	3
アルゼンチン	6	10	16	スリランカ	1	1	2
台湾	4	7	11	その他	13	10	23
				合計	692	967	1,659

## 執筆者の皆さん

■より住みやすい御殿場へ

アメリカシ ラリンダナートさん

スリランカ/会社員

■相談指導員の仕事の中で感じたこと

嵐田 アーじョイさん

フィリピン/静岡県教育委員会 外国人児童生徒相談指導員

■第二の故郷 御殿場

勝又るりさん

ブラジル/外国人の生活相談 相談員

■私が日頃感じていること

津嘉山 リリアナさん

アルゼンチン/御殿場市外国籍児童・生徒補習教室「ふじ山教室」代表

■興味深い日本の文化や習慣

ヒグビー ハミルトンさん

アメリカ/御殿場市内小学校 A L T

執筆者の皆さん、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

## 編集後記

近年、日本に長期滞在や永住する外国人が増えているため、国や自治体では多文化共生の施策を推進しています。総務省は多文化共生について、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義しています。当協会も在住外国人との共生交流を重点目標に掲げて、活動しています。

今回の特集では、御殿場市内に住んでいる外国人の皆さんに、日本（御殿場）の印象や日頃の生活の中で思っていることについて書いていただきました。日本と異なる文化や習慣の中で育ってきた人だからこそ分かること、気付くことが色々あります。

市民の皆さんにこの特集を読んでいただき、多文化共生について考えるきっかけや参考にしていただければ幸いです。

広報部会 一同

G O T E M B A A N D J A P A N

## 募 集

### ①会員

当協会では、会員を随時募集しています。会員になると、イベントや講座に優先的に申し込みができ、参加料や受講料が割引される特典があります。外国人と友達になりたい、イベントを企画・運営したい、写真やイラストなどの特技を生かしたい等、どなたでも大歓迎です。一緒に活動しましょう！

### ②ふじ山教室のボランティア

外国籍児童・生徒補習教室「ふじ山教室」で、子供たちの勉強を見てくださるボランティアを募集します。年齢や性別は問わず、資格も必要ありません。言葉ができなくても大丈夫！子供が好きで、役に立ちたいと思う気持ちがあれば充分です。お待ちしております。

### ③通訳ボランティア、ホストファミリーをしてくださる方も募集しています。

詳しくは、事務局 Tel : 0550-82-4426  
までお問い合わせください。



## 御殿場市国際交流協会の活動



GIA国際交流フェア



姉妹都市との交流



機関誌「ゆうあい」の編集・発行



語学講座